



# 学校だより

3月号



令和5年2月28日  
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ  
QRコード

## 「得意を自信に」

校長 榊原 一紀

3月17日には卒業証書授与式が行われます。卒業を迎える6年生の子どもたちは、学校の最高学年として、南小オリンピックやなかよし遠足、なかよし活動をはじめ、学校生活のあらゆる場面でみんなのリーダーとして期待に応える活躍をしてくれました。中学校生活でも、学んだことを生かして頑張ってくれることを期待しています。

正門には梅の花が咲いています。2本の梅の木があるのですが、白い花を咲かせる梅の木は、12月から咲き始め、そろそろ花の終わる時期となっています。今満開の梅は、紅い花を咲かせる木で校舎側にあります。1月下旬に白い花が満開になってもまだまだ花を咲かせません。この様子を見ながら「校舎に近いため、朝日が当たらないので日照時間が違うのではないか」や「紅い梅と白い梅の木ではそもそも開花の時期が違うのかな」など原因を考えながら、それぞれに違いがあると認識します。早く咲くから良いと思うことはありません。

子どもたちも一人ひとり違いがあります。計算が得意、覚えることが得意、本を読むのが得意、運動が得意など、子どもが30人いれば30人の得意なことは違います。しかし、周りと比べて苦手だったり不得意だったりすると、自分を責めたり、悲しく感じたりする子は少なくありません。大人も「みんなできるのに」とつい責めて後悔してしまうことや成長に不安を感じる場合があります。梅の木は、違いがあるから長く花を楽しめます。人も成長のスピードが違ったり、得意なことや好きなことが違うから、コミュニケーションをとることが楽しくなります。それに、他人の得意なことを聞いて世界が広がることもあります。もし、世の中の人々がみな、得意なことも好きなことも同じだったらと想像すると怖くなります。

2月下旬から始まっている学習発表会では、学習してきたことを、コンピューターやポスターを使って説明したり、実際にやって見せたりするなどしていました。方法は違っても自信をもって発表する姿は立派です。これからも、子どもたちには得意なことを自信に結び付けて成長してほしいと感じました。

この1年間の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に深くお礼申し上げます。